

蓮池・播磨南

小学校体育館



▲改修前最後の入学式（蓮池小学校体育館）

大規模改造へ

災害時に地域住民の避難所になる学校施設を改修

3月定例会は3月6日から23日まで開かれ、都市計画マスタープラン策定など33議案を審議した。

平成24年度予算は一般会計、5特別会計、水道事業会計で188億2238万5千円（対前年度比3%増）が提案され、一般会計は修正可決し、その他の会計は原案通り可決した。（4～9ページ参照）

なお、4人の議員が会派を代表して一般質問を行い、平成24年度町長施政方針をただした。（11・12ページ参照）

補正予算

一般会計9505万円増

小学校体育館の大規模改造などで増、不用額で減

平成23年度一般会計補正予算の増額分は、蓮池小学校、播磨南小学校体育館の大規模改造3億544万9千円が主なものである。

大規模改造は、両小学校の体育館の老朽化によるもので、災害時における避難所の機能も備えていく。

訴訟の提起

JR土山駅南の町有地損害賠償請求訴訟へ

日本テルペン化学㈱に対して、医療法人社団仙齡会（はりま病院）に支払った和解金とその北側残地の調査費用など、その損害金と遅延損害金を求める「訴えの提起」を賛成多数で可決した。

訴訟提起の原因は、平成15年3月に日本テルペン化学㈱から買収した土地の一部5500㎡で、

はりま病院の建設工事に産業廃棄物が出土し、土地に隠れたる瑕疵があるとして町が和解金の支払いを余儀なくされた。町としては、日本テルペンに瑕疵担保責任があると判断したが、相手側は責任はないと主張しているため、今回の訴訟提起が提案された。

条例改正

引き続き町長などの給料引き下げ

平成24年4月から26年3月まで、町長、副町長、教育長の給料月額をそれぞれ10%、7%、5%引き下げる条例改正2件を賛成多数で可決した。

26年度から10年間個人町民税500円増

平成26年度から35年度までに限り、個人町民税を年間500円加算する条例の改正を賛成多数で可決した。

この増額分は、震災復興財源として防災対策費に活用される。

質疑
問 この増税をしない場合のペナルティーは。
答 国の交付金がこの増額分を見込んで算定される（事実上、交付税の減額となる）。

管理職員特別勤務手当改正条例は不成立
管理職員特別勤務手当の支給などを盛り込んだ条例改正2件を賛成少数で否決した。

この特別勤務手当は、災害の発生などにより管理職員が休日に緊急で勤務した場合について、勤務1回につき5000円を支給しようとする提案された。

反対討論

▼管理職員特別勤務手当は、過去の行財政改革で廃止され、改めて復活させるには相当の事由が必要である。

▼中間管理職への支給は、ある程度理解できるが、理事級以下一律の支給については、到底住民の理解は得られない。

町の計画

都市計画マスタープラン策定

都市計画マスタープランの策定は、全会一致で可決した。

都市計画マスタープランは、播磨町のまちづくりの指針となる第4次播磨町総合計画などを踏まえ、都市全体の将来像や土地利用、施設整備のあり方などを明確にし、おおむね20年後の都市の姿を展望しつつ、10年後を目標年次とした都市計画の基本的な方針を示すものである。

この議案は、平成23年4月から議会基本条例が施行されたことに伴い、

今回議決案件として初めて提案された。

質疑

問 都市計画に継続的な評価・改善の仕組みを確立するPDCAサイクルに、どのように住民・事業者を組み込み、協働していくのか。
答 方法論としては、町のホームページや出前講座で声をお聞きするなど方策はいろいろあると思うが、そうした努力は今後とも惜しみなくやっていきたい。

問 計画の進み具合や成果と課題を住民に分かりやすく伝えるべきだし、住民との協働の仕組みを具体的に提案すべきである。
答 これまで実施したまま

この増額分は、震災復興財源として防災対策費に活用される。

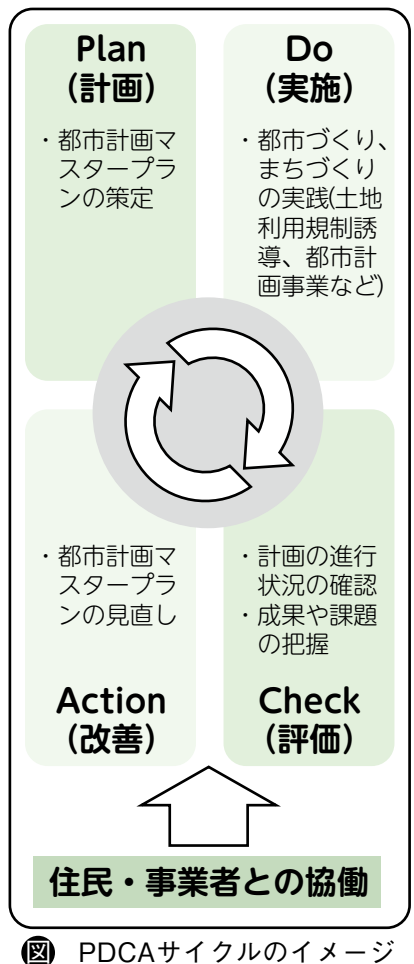


図 PDCAサイクルのイメージ